



2027年3月期第1四半期

決算説明会

株式会社 GSIクレオス

東証プライム市場 8101

2026年8月25日

An aerial photograph of a dense urban skyline, likely Tokyo, featuring numerous skyscrapers and modern buildings. The image is overlaid with a semi-transparent teal color that covers most of the frame, except for a white rectangular area at the top. The Japanese text "はじめに" is centered in the white area.

はじめに

本日本お伝えしたいこと

株式会社GSIクレオスとは、

- 2031年に迎える創立100年に向け、創造と刷新を続ける「**繊維**」と「**工業製品**」の「**事業創造型商社**」。
- 2027年3月期第1四半期業績は前年同期比**増収増益**となり、同四半期業績として全ての項目で**過去最高額を更新**。
- 2027年3月期通期も**過去最高純利益を更新**すべく、中期経営計画“GSI CONNECT Phase 2”を推進中。
(資本コスト経営を実践するとともに、持続的な成長を目指すべくESGへの取り組みを推進)
- **新たな事業創造**の取り組みも推進中。
(南米メディカル事業、有機薄膜太陽電池(OPV)、戦略人事(GROWプロジェクト))

本日の流れ

- | | |
|---------------------|------|
| 1. 会社概要・強み | P. 5 |
| 2. 中期経営計画サマリー | P.16 |
| 3. 2027年3月期 第1四半期業績 | P.18 |
| 4. 2027年3月期 業績予想 | P.25 |
| 5. 新たな取り組み | P.29 |
| 6. 本日のまとめ | P.34 |



1

会社概要・強み

GSIクレオス 会社概要



▲▼(本社)芝公園ファーストビル



住所(本社)

東京都港区芝 3-8-2 芝公園ファーストビル 16階

上場市場

東京証券取引所 プライム市場 (銘柄コード 8101)

代表者

代表取締役 社長執行役員 CEO 吉永 直明

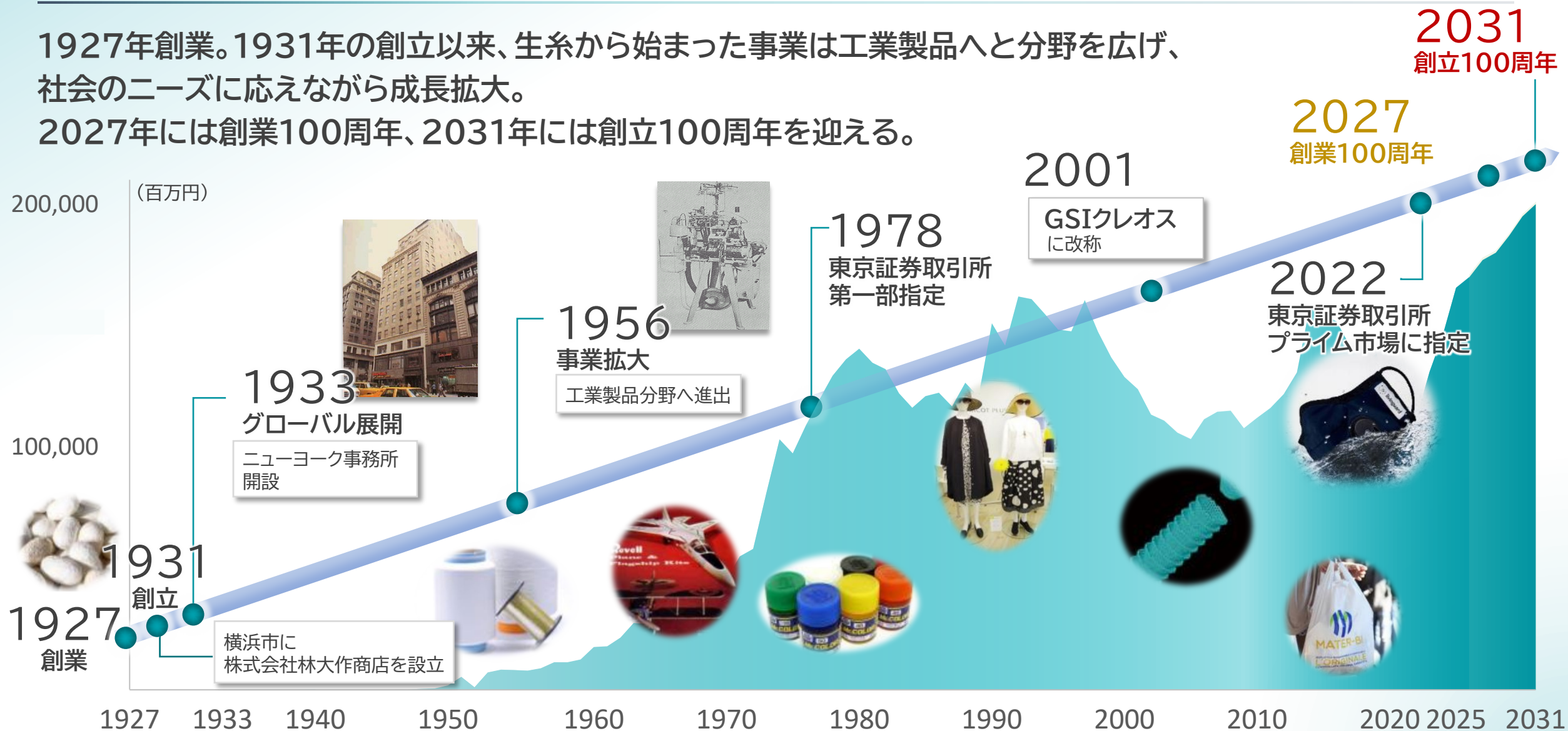
事業内容

「繊維事業」と「工業製品事業」を基軸とする
“事業創造型商社”

GSIクレオス 沿革

1927年創業。1931年の創立以来、生糸から始まった事業は工業製品へと分野を広げ、社会のニーズに応えながら成長拡大。

2027年には創業100周年、2031年には創立100周年を迎える。



GSIクレオス 社名の由来

2001年「グンゼ産業株式会社」から「株式会社GSIクレオス」に改称

GSI = **Global** グローバルで
Sophisticated 洗練された
Intelligence 知性

Creos = **Create** 創造する
Reorient 新しい方向へと進める
Eos 曙の女神

GSIクレオス パーパスと企業理念

次代の生活品質を高める
事業の創造者として
人びとの幸せを実現する

パーパス

コーポレートメッセージ

Produce the Future

次代をつくる

グループスローガン

Weave a New Story

つむぐ・つなぐ・つなげる

【存在理念】

私たちの存在意義は、新たな価値を発見し、社会的な価値へと結晶させることにあります。

次代の生活品質を追求するビジネス・プロデューサーとして、
独自にして公益にかなう最高水準のサービスを創造し、
GSIクレオスと価値を共創する
すべての当事者の幸せを実現します。

存在理念

経営理念

行動理念

GSIクレオスの事業分野

繊維と工業製品の“事業創造型商社”



GSIクレオスの特徴 ～繊維事業～

素材やテキスタイルの企画提案、開発・調達から製品の生産および自社ブランドの展開まで、繊維業界を広範囲にわたり支える、当社グループの基幹事業と位置付けている。

ファイバー



- 原糸・繊維原料
- メディカル繊維原料・製品

アウター



- アパレル製品(OEM、ODM)
- 生地(テキスタイル)
- 生活雑貨

インナー



- ランジェリー、インナー製品(OEM、ODM)
- インナー用生地
- 最終製品(自社ブランド)

GSIクレオスの特徴 ～工業製品事業～

繊維向けなどの化学品や繊維機械の取り扱いから事業がスタート。
現在では、半導体・化成品・ホビー商材・美容から医療まで、成長著しい分野でシェア拡大を図る成長ドライバーとして、専門性豊かな商品・商材を提供している。

セミコンダクター



- 半導体製造装置用部材
- 汎用半導体部材

ケミカル



- 塗料原料、化学品
- 機能性樹脂、フィルム
- カーボンナノチューブ

ホビー＆ライフ



- ホビー関連商材
- 化粧品原料
- 健康食品、ヘルスケア用品

マシナリー＆ イクイップメント



- 産業機械、理化学機器
- 複合材成型設備・材料

GSIクレオスの特徴 ① ～グローバル展開～

- 全世界に拠点を構え、グローバルに事業を展開。

国内9拠点、海外27拠点

海外売上高比率 62.1% (2027年3月期第1四半期)



GSIクレオスの特徴 ② ～R&D機能～

- 世界3か所の研究開発拠点で事業活動を支援。

GSI ヨーロッパ社 フランス支店

“ケミカル・イノベーションセンター”

化学品事業の研究開発拠点。
2025年9月より本格稼働を開始。



研究開発拠点

付加価値・ソリューション
を創造

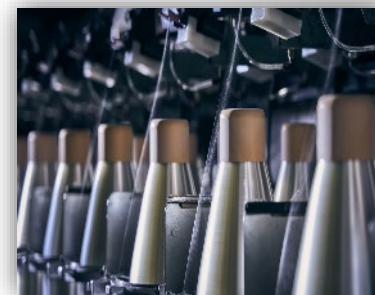
“ナノカーボン開発センター”

当社カーボンナノチューブの研究開発および
「加工」、「評価」、「分析」を主とする受託事業。



“株式会社 GSIソアロンテキスタイルラボ”

トリアセテート(ソアロン)の加工および新規生地を試織。
付加価値の高い繊維素材の開発。



GSIクレオスの特徴 ③ ～独自商材～

- 世界で唯一、株式会社ソアロンのみが製造する
高品質の半合成繊維「トリアセテート」※



- 大手プラモデル[®]メーカーの公式塗料にも
認定されるなど、ホビー塗料分野の
トップブランド「Mr.HOBBY」



A large white commercial airplane is shown from a low angle, flying upwards and to the right. The aircraft is white with blue accents on the tail and engines. It is positioned behind a wide, horizontal teal band that spans the width of the image. The background is a clear blue sky with some light clouds. The number '2' is centered within the teal band.

2

中期経営計画サマリー

“GSI CONNECT Phase 2” 当初計画

- 創立100周年にあたる2031年度にむけて長期ビジョン・目標を設定。
(売上高2,000億円、純利益40億円、時価総額500億円超)
- 長期目標達成に向け、2026年3月期より中期経営計画“GSI CONNECT Phase 2”を推進中。
中期経営計画2年目となる2027年3月期は過去最高純利益の更新を目指す。

(百万円)

経営成績	中計1年目 (2026年3月期) 実績	中計2年目 (2027年3月期) 業績予想	中計最終年度 (2028年3月期) 当初計画	2031年ビジョン (2032年3月期) 長期目標
売上高	188,677	186,000	177,000	売上高 2,000億円
営業利益	3,605	3,800	4,000	純利益 40億円
経常利益	3,924	3,800	4,000	時価総額 500億円超
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,544	2,600	3,000	
ROE	8.2%	--	10%超	



3

2027年3月期第1四半期業績

2027年3月期1Q業績（前年同期比）

Point

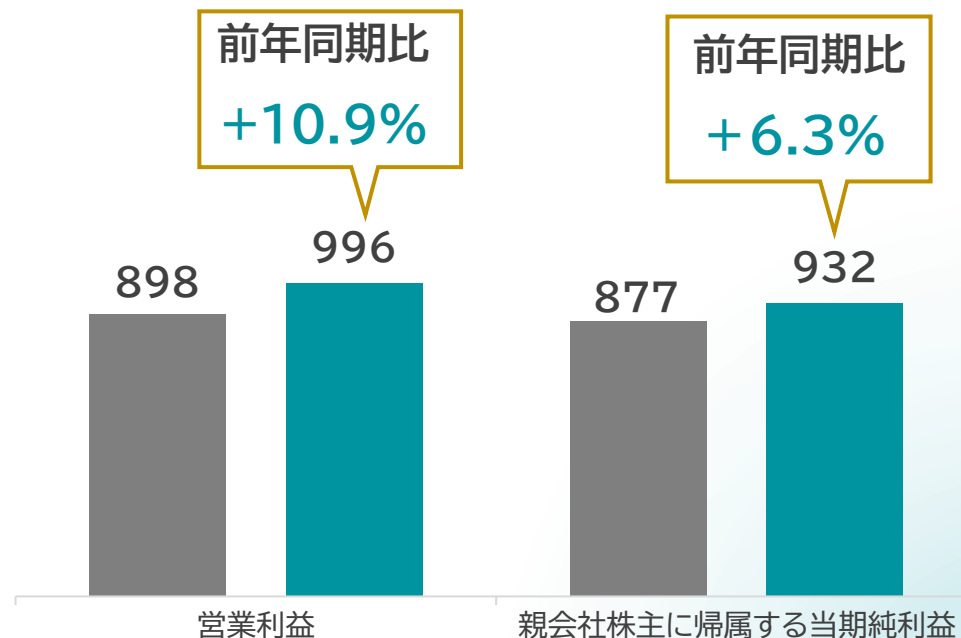
- 売上高、利益の全項目において前年同期比で増加。
- 第1四半期として全ての項目で過去最高の業績を達成。

経営成績	1Q 実績		前年同期比	
	2026年3月期	2027年3月期	(金額)	(%)
売上高	37,801	39,597	1,795	4.8
営業利益	898	996	97	10.9
営業利益率	2.4%	2.5%	+0.1pt	--
経常利益	1,074	1,121	46	4.4
親会社株主に 帰属する 当期純利益	877	932	54	6.3

(百万円)

(百万円)

- 2026年3月期第1四半期
- 2027年3月期第1四半期



2027年3月期1Q業績（業績予想比進捗）

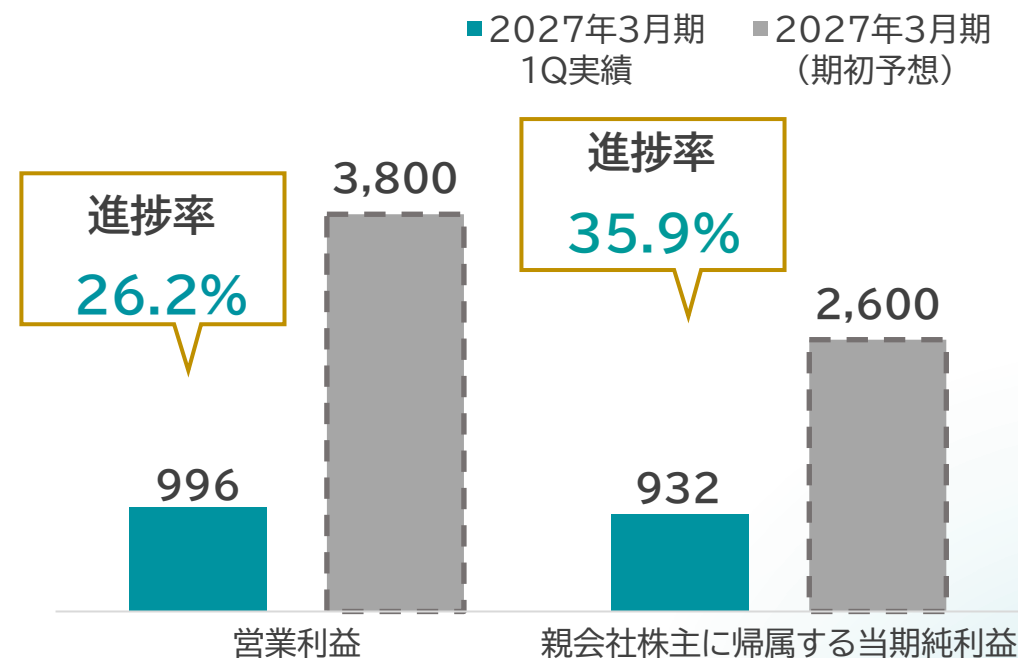
Point

- 期初(2026年5月15日)公表の業績予想に対する利益の進捗率は、標準を上回る堅調なスタート。

(百万円)

経営成績	2027年3月期 期初予想	2027年3月期 1Q実績	進捗率 (標準:25%)
売上高	186,000	39,597	21.3%
営業利益	<u>3,800</u>	<u>996</u>	<u>26.2%</u>
経常利益	3,800	1,121	29.5%
親会社株主に 帰属する当期純利益	<u>2,600</u>	<u>932</u>	<u>35.9%</u>

営業利益および当期純利益の進捗状況 (百万円)



事業別 業績サマリー

Point

- 繊維事業 :増収増益。トリアセテート繊維の取引増加に加え、インナー用機能系・生地取引や欧米向けの生地販売が堅調に推移。
- 工業製品事業 :増収減益。前年同期における複合材関連装置の大型案件の反動があるものの、塗料原料や中国製ウェハの取引が増加。

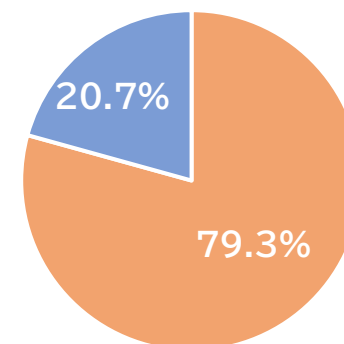
売上高

(百万円)

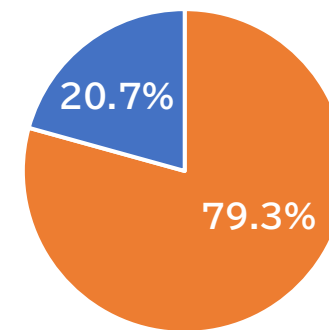
セグメント	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	前年同期比 (金額)	前年同期比 (%)
繊維事業	29,967	31,416	1,449	+4.8
工業製品事業	7,834	8,181	346	+4.4
合計	37,801	39,597	1,795	+4.8

売上高構成比

2026年3月期 1Q



2027年3月期 1Q



■ 繊維事業 ■ 工業製品事業

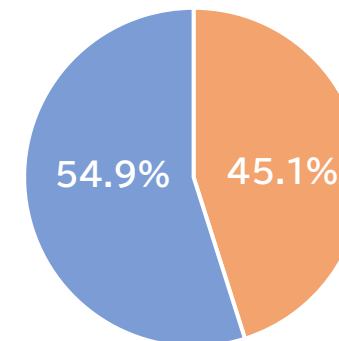
営業利益

(百万円)

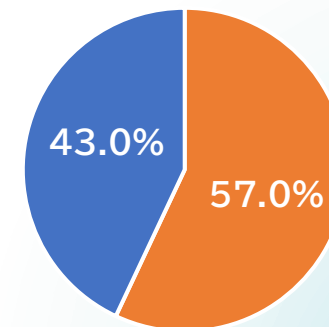
セグメント	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	前年同期比 (金額)	前年同期比 (%)
繊維事業	451	648	196	+43.5
工業製品事業	550	489	△61	△11.1
調整額	△104	△141	△37	--
合計	898	996	97	10.9

営業利益構成比

2026年3月期 1Q



2027年3月期 1Q



■ 繊維事業 ■ 工業製品事業

セグメント別業績（繊維事業）

（百万円）

		2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	前年同期比 （金額）	前年同期比 （%）
ファイバー	売上高	21,672	21,039	△633	△2.9
	営業利益	8	116	107	1,260.4
アウター	売上高	5,516	7,394	1,877	34.0
	営業利益	313	412	99	31.7
インナー	売上高	2,777	2,981	204	7.4
	営業利益	130	119	△10	△8.1
繊維計	売上高	29,967	31,416	1,449	4.8
	営業利益	451	648	196	43.5

主な要因

インナー用機能糸・生地取引は前年同期を下回るものの堅調に推移。加えて、前年同期の一部取引先に対する貸倒引当金繰入額計上の影響により、増益。

欧米向けの生地販売が堅調に推移したことに加え、トリアセテート繊維の取引の増加などにより、増益。

盛夏対応商品が堅調に推移したものの、原材料価格などの上昇や、ランジェリーを中心とした一部製品分野における需要の減少もあり、減益。

セグメント別業績（工業製品事業）

（百万円）

		2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	前年同期比 （金額）	前年同期比 （%）
セミコン ダクター	売上高	1,125	1,336	210	18.7
	営業利益	△13	△1	11	--
ケミカル	売上高	3,598	4,487	888	24.7
	営業利益	228	328	100	43.8
ホビー & ライフ	売上高	1,290	1,376	85	6.7
	営業利益	127	175	48	37.7
マシン- & イクイップメント	売上高	1,821	982	△839	△46.1
	営業利益	208	△12	△220	--
工業製品計	売上高	7,834	8,181	346	4.4
	営業利益	550	489	△61	△11.1

主な要因

米国の対中半導体輸出規制の影響が残るものの、中国製ウェハの取引が堅調に推移したことなどにより、収支改善。

塗料原料の輸出取引が堅調に推移。中東情勢を背景とした原油供給への懸念から、樹脂やフィルムの価格改定や一部取引における先行受注もあり、増益。

ホビー関連の取引は、中国および欧米向け販売が堅調に推移。化粧品原料の取引は、欧米向け販売が伸長したことなどにより、増益。

理化学関連装置の取引が堅調に推移したものの、前年同期の複合材関連装置の大型案件の反動により、減益。

海外売上高

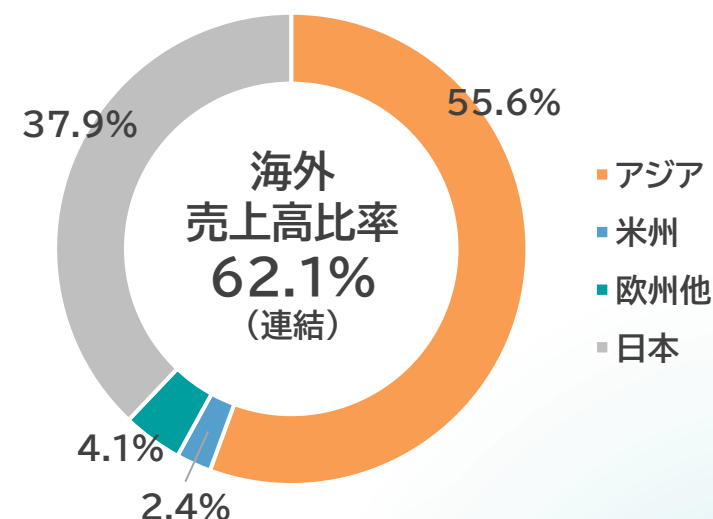
Point

- 海外売上高は前年同期比で増加し、海外売上高比率は引き続き60%を超える。

(百万円)

項 目	26年3月期 1Q		27年3月期 1Q		前年同期比	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
アジア	21,431	56.7	22,018	55.6	587	△1.1
米州	1,515	4.0	961	2.4	△554	△1.6
欧州他	1,306	3.5	1,613	4.1	306	0.6
海外売上高	24,252	64.2	24,593	62.1	340	△2.1

27年3月期 1Q 地域別売上高構成比



アジア:主に中国、香港

米州:主にアメリカ、ブラジル



4

2027年3月期業績予想

2027年3月期 業績予想

Point

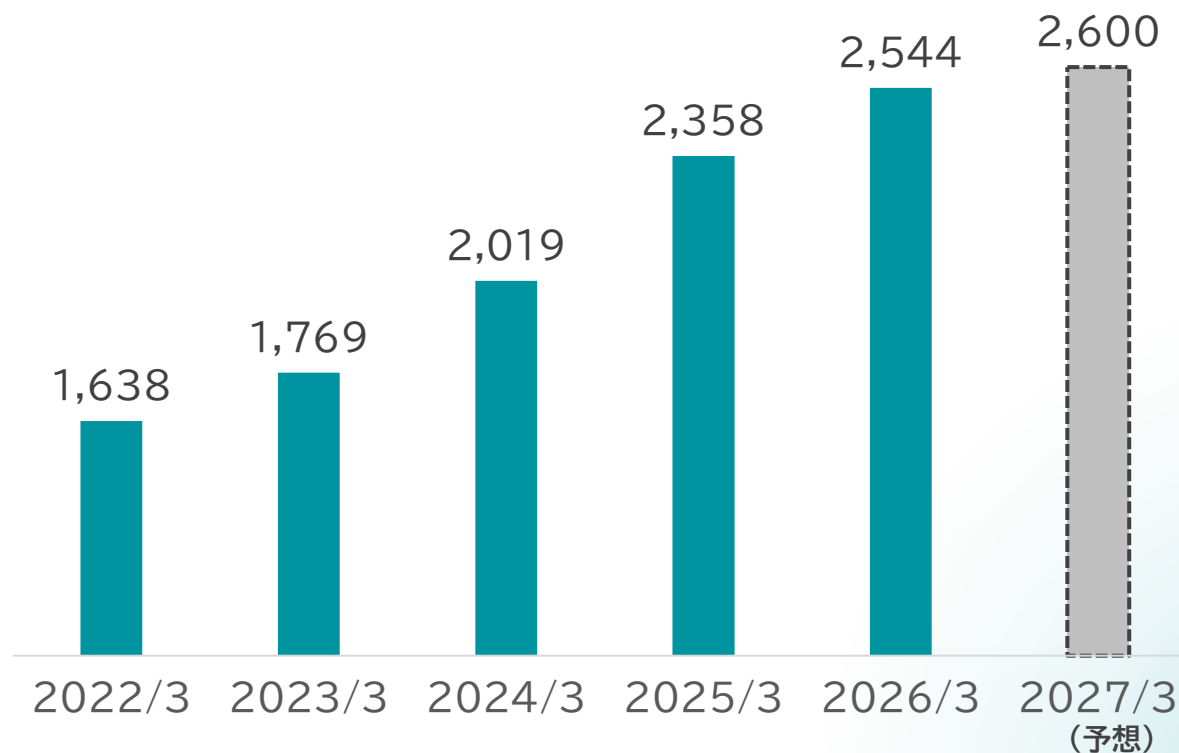
- 期初予想を修正せず、過去最高純利益の更新に向けた取り組みを推進していく。
 - ・ 中東情勢やそれに伴う原油・エネルギー価格の変動や供給不足の懸念など、事業環境は厳しさを増すと想定している。
 - ・ 経済環境に左右されない強固な経営基盤の構築を進めるとともに、トリアセテート繊維事業やケミカル事業へ注力する。

(百万円)

経営成績	2026年 3月期実績	2027年 3月期予想
売上高	188,677	186,000
営業利益	<u>3,605</u>	<u>3,800</u>
経常利益	3,924	3,800
親会社株主に 帰属する 当期純利益	<u>2,544</u>	<u>2,600</u>

親会社株主に帰属する当期純利益の推移

(百万円)



2027年3月期 配当予想

Point

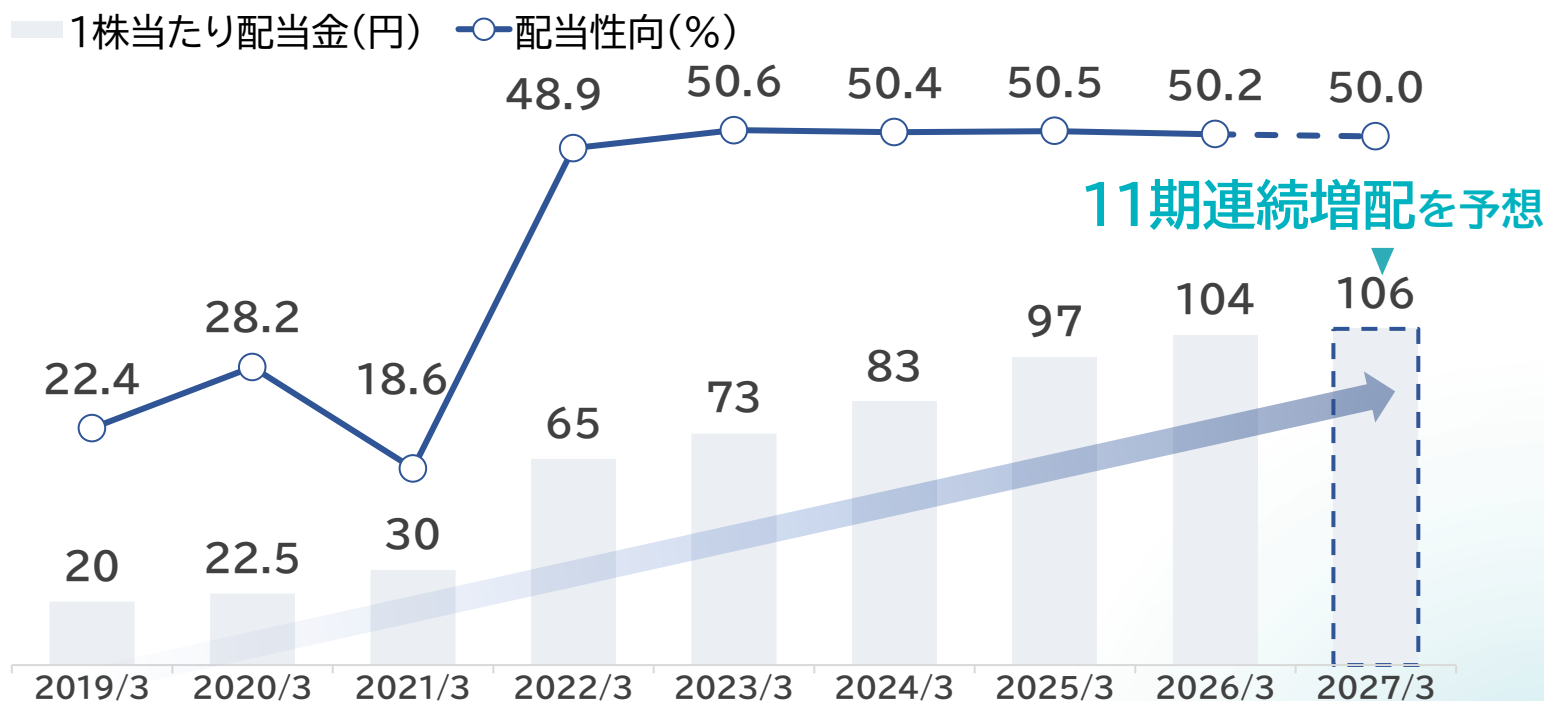
- 年間(期末)1株当たり配当金: 期初公表(2026年5月15日)の**106.0円**から変更なし。
 ➡中期経営計画“GSI CONNECT Phase2”株主還元方針を継続し、**11期連続の増配**を予想

項 目	2027年3月期 予想
1株当たり配当金	106.0円
配 当 性 向	50.0%

“GSI CONNECT Phase2” 株主還元方針

- 配当性向 50%以上を維持
- 累進配当 1株当たり下限100円

1株当たり配当金および配当性向の推移



※2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
 1株当たり配当金につきましては、2019/3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

株主優待制度

- 9月末(基準日)現在、当社株式100株以上を1年以上保有されている株主様を対象に、優待品(当社特製クオカード)を贈呈。

保有株式数	株式保有期間	
	1年以上 3年未満	3年以上
100 株以上 300 株未満	1,000 円	2,000円
300 株以上	2,000 円	3,000円



▲当社特製クオカード（イメージ図）



5

新たな取り組み

新たな取り組み(1/3)～南米メディカル事業～

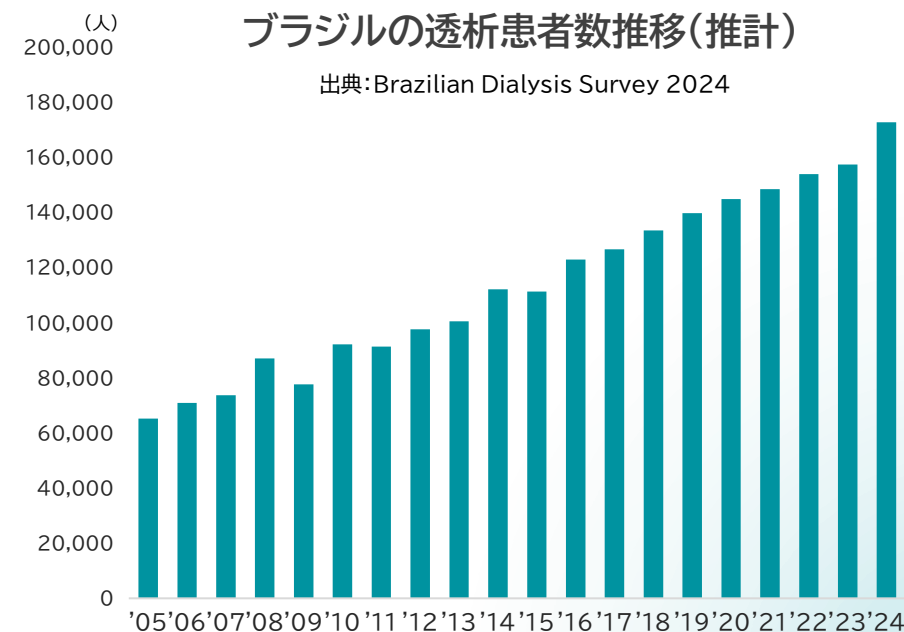
- 透析患者数が増加するブラジルで、現地企業と共同で透析クリニック“GSI Creos Memorial Clinic”を運営中。
- 本年4月に、5拠点目となる施設を開設。
- 南米におけるメディカル事業への取り組みを強化することで、ESG経営を推進し、持続可能な社会の実現に貢献する。
- 当社は、透析装置および消耗品の拡販はもとより、クリニック運営による業界認知度の向上を目指し、南米全体で事業を推進する。

▼クリニック内部の風景



ブラジルの透析患者数推移(推計)

出典: Brazilian Dialysis Survey 2024



▼ サンパウロ地域のクリニック



地図: Wikimedia Commons

パートナー企業



等

事業拡大へ

サンパウロ ●

新たな取り組み(2/3)～OPV(有機薄膜太陽電池)事業～ (1/2)

2030年代に100億円規模の売上を目指す。

- 世界最大のOPV製造グループPHD社(ブラジル)と、ウロボロス・パワー・ハーベスティング(OPH社)を設立、2029年度以降のOPV国内製造開始を目指し、協働していくことで合意。

⇒ 7月15日 日本経済新聞掲載

“第2のペロブスカイト「OPV」アジア 初量産へ”

▼ 本事業における当社グループ体制



OPVの強み



有機材料による
安全性



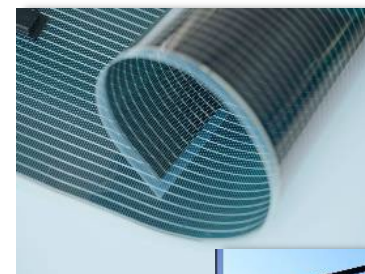
超軽量・
フレキシブルな
施工性



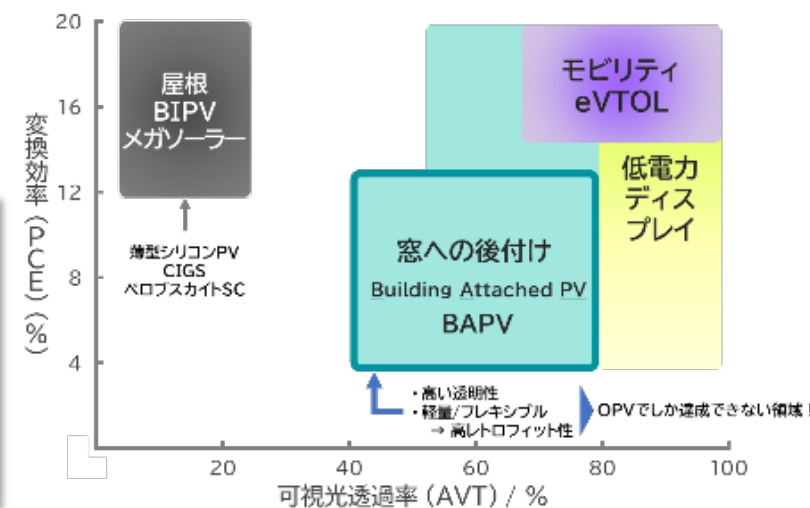
高い透明性と
優れたデザイン性



遮熱効果による
省エネ性能



▼ OPVの市場領域



新たな取り組み(2/3)～OPV(有機薄膜太陽電池)事業～ (2/2)

OPVの事業化に向けた共同実証実験を推進。

- **SDRS株式会社**(旧社名:サンデン・リテールシステム株式会社)
とともに、SDRS社の赤城事業所内の大会議室で
ST-OPV(光透過型有機薄膜太陽電池)の
共同実証実験を開始。
- 社会実装に向けた自治体との連携も進展。
神奈川県 川崎市:令和8年度
「環境技術産学公民連携公募型共同研究事業」に採択。
川崎市保有施設での実証実験により、都市環境での
発電性能・耐久性・施工性を総合的に評価し、施工標準の
確立と社会実装の加速を目指す。
北海道 中富良野町:ST-OPV実証に関する
包括連携協定を締結。低消費エネルギーで成り立つ
持続可能なスマートシティの実現を目指す。

▼ SDRS社赤城工場での検証模様



▼ 中富良野町との包括協定締結式(7月16日)



新たな取り組み（3/3）～GROWプロジェクト～

- すべての従業員が活躍できる環境づくりや人材育成、多様な働き方を推進するための戦略人事

方針

施策

キーワード

戦略的人材開発

越境思考と
多文化理解をもつ
人材の育成

Global
Mindset

変化に対応する
ための学び直しと
専門性強化

Reskill

挑戦を促す機会
創出と透明性の
ある人事制度構築

Opportunity

心の健康と
エンゲージメント
の向上

Well-being

G
R
O
W
プ
ロ
ジ
エ
ク
ト

2026年3月期 主な決定事項

人的資本強化に向けた賃金制度改革

処遇水準の引き上げと制度設計の見直しを通じて、
人的資本の強化と中長期的な企業価値向上につなげる

継続的なベースアップの実施

2019年から継続してベースアップ。
2026年度は一律2万円の引き上げ。

新職群制度の導入・初任給改定

- ・社員一人ひとりがキャリア観やライフステージに応じた働き方を選択できる制度へと改定。
- ・2026年度の新卒初任給(大学卒／グローバル職)を2万円増の28万円に。

賞与決定方法の見直し

冬季賞与を固定化し、夏季賞与を業績評価に基づいて決定する仕組みに見直し。



6

本日のまとめ

本日本お伝えしたいこと

株式会社GSIクレオスとは、

- 2031年に迎える創立100年に向け、創造と刷新を続ける「**繊維**」と「**工業製品**」の「**事業創造型商社**」。
- 2027年3月期第1四半期業績は前年同期比**増収増益**となり、同四半期業績として全ての項目で**過去最高額を更新**。
- 2027年3月期通期も**過去最高純利益を更新**すべく、中期経営計画“GSI CONNECT Phase 2”を推進中。
(資本コスト経営を実践するとともに、持続的な成長を目指すべくESGへの取り組みを推進)
- **新たな事業創造**の取り組みも推進中。
(南米メディカル事業、有機薄膜太陽電池(OPV)、戦略人事(GROWプロジェクト))

動画のご案内

- GSIクレオス 代表取締役 社長執行役員 CEO 吉永が出演した 日経CNBCの番組「Market Breakthrough～攻めのIR」を YouTubeにて視聴いただけます。



▼ スマートフォンなどから、こちらのQRコードを読み取り、視聴ください



<https://www.youtube.com/watch?v=vMF7-Zuq3IM>



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

また、本資料は信頼できると思われる情報にもとづいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。